

## 赤こんりポート

松村美沙枝リポーター



抹茶を気軽に  
楽しみませんか？  
作法にこだわらないお茶席

「抹茶を楽しむ会」は今年6月からG-NETしがの茶亭で定期的にお茶会を開催されています。

代表の山田さんは長くお茶を学んでこられた中で「作法は苦手だけど、お茶席の楽しさは広くいろんな人に知ってほしい」という想いから、このお茶会を始められたそうです。

「リフレッシュのため」「子どもに伝統的な体験をしてほしくて」老若男女、ときには家族全員での申し込みもあるそう。1組ずつ案内されるので、周りも作法も気にせず、純粋に景観とお抹茶を楽しめるのが魅力です。11月5日(土)と27日(日)に開催予定です。

## 赤こんりポート

今井良治リポーター



「湖彩」をテーマに描き続ける  
鶴房さんの米寿を祝う個展

近江八幡に生まれ、湖国の情景を中心に70年近くにわたり描き続ける洋画家・鶴房健蔵さん(鷹飼町)の個展が9月23日から4日間にわたり市文化会館で開かれました。鶴房さんの米寿を祝い、鶴房さんが代表を務める絵画愛好会「八美会」のメンバーが中心となり開いたもの。「湖彩」をテーマに琵琶湖畔や水郷、八幡堀などをはじめ、よりすぐりの大小約88点の作品が訪れた多くの鶴房ファンを魅了しました。絵を始めるきっかけは、中学生の頃に農協中央会主催のポスターコンクールに応募し、優秀作として選ばれ展示されたこと。3年前には水郷風景を描いた百号の大作が、首相官邸に半年間にわたり展示される栄誉にも。「これからも命の限り描き続けたい」と元気に話しておられました。



## 赤こんりポート

東恵子リポーター



浄厳院で安土信長出陣太鼓

安土町の浄厳院で9月18日、アーティスト in レジデンスワークショップ「安土信長出陣太鼓」が披露されました。

アーティスト in レジデンスは、ウクライナやポーランド、韓国から6人の芸術家を招き、宿坊で暮らしながら作品を制作するというもの。作品は11月6日(日)まで浄厳院現代美術展で展示されます。

織田信長が創建したと伝わる同寺の書院が太鼓演奏の会場。体験レッスンでは、アーティストの皆さんや観客も輪になって太鼓を演奏しました。国や文化を超えてつながるのは、それほど難しいことではないと思いました。主催したAT ARTSの西村のんきさんは「アートは文化。地域の人の心を豊かにするために交流したい」と話しました。

10月1日



中央公民館講座 10周年記念事業  
井村雅代さん講演会 ～心の才能を伸ばす～

アーティストックスイミング元日本代表ヘッドコーチの井村雅代さんが、市文化会館で講演を行いました。

井村さんは、「心の才能とは、上手いかわないことがあったとしても、そこで諦めるのではなく、もっと頑張ろうと思える心の持ちようのこと。指導者の役割はその才能に対し、『毎日の小さな成功体験』を積み重ねられるよう声をかけることだと思う」と話しました。また、「私が指導して泣かなかった3人のうちの1人」という乾友紀子選手について、「世界で戦い続けられる今の立場は幸せ」と締めくくると会場からは大きな拍手が起こりました。

9月15日・30日



事故撲滅へ・各地で安全啓発イベント実施  
秋の交通安全運動

交通安全の意識を向上し、事故の撲滅を図る秋の交通安全運動が9月21日から30日までの10日間行われ、市内各地でさまざまなイベントが開催されました。

近江八幡地区交通安全協会と近江八幡地区安全運転管理者協会、近江八幡警察署の主催で行われた出動式には、近江八幡観光物産協会「信長隊安土衆」が駆け付け、「打倒、あおり運転」と呼びかけました。最終日には近江八幡地区交通安全対策会議主催で、市文化会館前の横断歩道で啓発を実施し「歩行者には十分気をつけてください」などと声をかけながら、啓発品を配付しました。

9月24日



ほのかな灯りで西の湖を照らす  
第16回西の湖ヨシ灯り展開催

安土町下豊浦の江ノ島地先のよしきりの池・安土B&G海洋センター一帯で「西の湖ヨシ灯り展」が開催されました。この企画は今年で16年目を迎え、作品作りや催しを通して、自然と触れ合う機会を設け、環境について考えるきっかけづくりの場として開催されています。

午後6時に点灯式が行われ、各作品に設置された電球が一斉に灯されると訪れた人々から歓声が沸き、会場を盛り上げました。日が沈むと展示作品が遊歩道に光の道を作り、会場は幻想的な雰囲気に包まれていました。

9月17日



子どもから高齢者まで！  
みんなで楽しむスポーツフェスティバル開催

スポーツと健康に関する体験型イベント「スポーツフェスティバル」が運動公園で開催され、多くの家族連れなどがスポーツを楽しみました。

体育館ではキッズチアの披露のほか、カローリングやボッチャ、ディスコンなどのニュースポーツなどが、野球場ではラグビーやストラックアウト、モルックなどが体験できました。

参加者は、楽しみながら汗を流し「初めてニュースポーツを体験できるとも面白かったです。子どもたちもスポーツ鬼ごっこやストラックアウトをとっても楽しんでいました。他のスポーツもいろいろ体験したいです」と話していました。

9月20日



芸術によるまちづくりに向け  
渥美勉さんを地域おこし協力隊員として委嘱

職業訓練校でWebデザインを学びWeb業界へ転職した宮城県仙台市出身の渥美さん。現在はフリーランスとして中小企業を中心にWebコンサルティングに従事しています。

9月16日付けで着任した渥美さんは、この日行われた委嘱式で「BIWAKOピエンナーレを中心としたアーティストや市内で活躍する表現者などを通じて、今まで見えなかった地域の魅力や課題をWebサイトで発信していきたい。また、子どもたちがアーティストと関わることで、自由で柔軟な発想で乗り越えていく力を発見する手助けを行いたい」と意気込みを語りました。